

中心市街地エリア別ワークショップ「倉吉の未来を語らいや！」
(明倫エリア編)

【日 時】平成 27 年 10 月 4 日（日）14 時～16 時

【場 所】倉吉淀屋

【参加者】13 名

【内 容】ワークシートに記載のテーマ 1～4 に関する意見を参加者から発表していただいた。

※詳細は下記のとおり

【主な意見】

テーマ 1：エリア活性化のあるべき姿

- ・文化財に誇りを持っている人が多いまち。
- ・定住人口、交流人口が増えているまち。
- ・（文化財等）本物に出会えるまち。
- ・地域で子育てもできるまち。
- ・住んでいる人が誇りを感じられるまち。
- ・次世代の人や市外の人が住みやすい環境が整っているまち。
- ・医療、福祉、産業など倉吉市の中心となっているまち。
- ・子育てができる環境が整ったまち。

テーマ 2：エリアにおける現状と課題

- ・歴史的建造物（特に近代）が残っている。
- ・歴史文化に対する住民共通認識が必要。
- ・小川家の保存活用事業に対する地元の期待度が高い。
- ・駐車場が不足している。
- ・高齢化率が高い。
- ・来街者が増えている。（コスプレイヤーが歴史的建造物で写真を撮影している）。
- ・明倫地区内のある町では 15 歳未満の人がいない。
- ・中心性をどうやって作るかが課題。
- ・若い人がまちづくりに関わらない。
- ・ソフト面での充実
- ・職人など人財の宝庫

テーマ 3、4：エリア活性化に向けての必要な取り組み

- ・文化財を活用した取り組み。
- ・案内看板等の設置。
- ・中心市街地の西の玄関口であるという意識に基づく取り組み。
- ・地域資源（ヒト、モノ）の磨き上げ。
- ・円形校舎をまちの核とした取り組み。（賛否両論あり）
- ・ネットを活用した情報発信（全国への）。

- ・人を集めるような取り組み。
- ・水木しげるロード（境港）⇒コナン（北栄）⇒円形校舎という流れを作る取り組み。
- ・赤瓦⇒淀屋⇒円形校舎という流れをつくる取り組み。
- ・若い世代を巻き込んだ取り組み。
- ・小川家に市民が気軽に集えるようなスペースを。
- ・アーティストを中心とした取り組み。

その他

- ・今回と同じようなテーマで過去に明倫会議というものを行ったためその結果も参考にしてはどうか。